

2026年度 第一回 第三者委員会 議事録

日 時：2026年4月20日（金）13時30分～14時30分

場 所：東郷信愛幼稚園・会議室

出席者：第三者委員：巴 修一氏・今林 真理氏

苦情解決係り：浜砂志津子園長 苦情解決窓口：中尾麻貴子副園長、小山愛由美（主幹保育教諭）

議題1,今年度の職員体制について報告・挨拶。

2025年4月に園長が木村真彦から浜砂志津子に交代し1年が経過。子ども達、保護者、職員、皆にとって安心安全な保育環境になるよう整えている。今後も適切な保育が行えるよう、改善点を整理し迅速かつ的確な対応を行えるようにしていく。引き続き巴氏、今林氏お二人方へ今年度も第三者委員として在任いただけるよう浜砂園長より依頼と挨拶があった。

2, 昨年度の苦情解決について報告。

案件1：保護者より年長キャンプについて、宿泊ではなくデイキャンプで行うという園方針に対する反対意見。開催予定日の1ヵ月前に内容変更の手紙を配布したことで多くの混乱を招いてしまった。

対応：緊急保護者説明会を開催し、決断に至った園側の意図を説明。保護者の方々の思いを傾聴し再度園内で熟考。第二回緊急保護者説明会を開催。宿泊については各家庭の選択制にして実施することで同意を得た。

案件2：保護者より、職員の子どもへの対応が不適切なのではないか。登園しぶりがある。日々の子どもの様子を密に伝えてほしい。外遊びの時間が短いのではないか。というご意見。

対応：職員との個別面談及び全職員と保育内容、対応について熟考。
不適切保育についての研修を受講。

- ① 子どもが楽しく主体的、意欲的に活動できる保育内容について知恵を出し合い実行する。
- ② 子ども一人ひとりの気持ちを受け止め、子どもが安定した気持ちで園生活がおくれるよう 寄り添った保育を進める。
- ③ 子どもへの声かけは、保育士の願いが強くなり過ぎないように言動に留意すると共に、園内研修会を通してスキルアップを図る。
- ④ 保護者との情報交換を、さらに密にしていく。

対応改善として上記の事を報告。その後も複数回、経過報告を実施。保護者からの理解を得られた。

3, 今年度、現時点までの苦情について報告。

今年度は現時点での苦情申し立て無し。